

令和5年10月26日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…社会福祉法人 縁むすび福祉会 小規模多機能型居宅介護 宍道の里

サービス種類…地域密着型小規模多機能型居宅介護

会議開催日… 令和5年10月26日(木)

開催場所…小規模多機能型居宅介護 宍道の里

出席者

事業所	3	名	事業所	0	名
利用者家族	0	名	地域代表者	0	名
松江市職員	1	名	地域包括支援センター	0	名
知見を有する者	0	名	その他(理事)	0	名

議事

利用状況 (令和5年10月26日時点)

登録者数 9名 (男性 5名 女性 4名)

要支援1 0名 要介護1 0名 要介護3 2名 要介護5 0名

要支援2 1名 要介護2 1名 要介護4 3名 申請中 2名

平均要介護度 2.33 平均年齢 77.1 歳

新規利用 なし

利用中止 なし

活動状況報告

・9月、10月カレンダー作成・敬老会

・季節のぬり絵

・畑の大根作り開始

・花の鉢植え

(1)コロナ感染症対策として、マスクの装着を行っています。

レクリエーションに力を入れており、季節感を感じて頂けるようなレクリエーションを行いました。

季節の塗り絵など行い手作業のレクリエーション中心に作品が出来上がっています。

敬老会では法人全体として皆さんで盛り上りました。

'(2)コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出は中止をしました。

ヒヤリハット 救護で入居された利用者様が薬の飲み始めからふらつき
などで壁に頭をぶつけそうになつたりされることが多々あり

見守り行うも自分で歩かれるため常に状態観察が難しかった。

事故・ヒヤリ報告

対策： 本人様の状態把握も出来ず、病院受診も多く医師などに状態を伝えて薬調整など相談を行う。

また薬の副作用である可能性が高いため、ふらつきがみられる際には座って少し休憩して頂くなどの対応を行う。

事故報告：施設の敷地内であったが利用者様が一人で駐車場内を歩かれていた。(利用者様の所在確認できておらず)

職員はNC対応で居室に入っていた。

対策： 以前も同様の事が起り、法人内で情報共有を行い、一人になることがある際には廊下の鍵を閉めて居室にはいるなどの対策を行っていたが出来ていなかった。

再度周知徹底を行う事及び事故の再発防止に取り組む。

ただし、利用者様に閉塞感を与えないように散歩などの対応や支援を行っていくこと。

その他

・8月16日から自宅で生活をしていたが寝たり起きたり、食事を食べたり食べていなかつたりと自宅にて独居されていた方を急きょ施設にて預かるという事があったが、介護保険もなく家族も遠方で対応も出来ず、病院受診なども頻回に行い対応している利用者様がおられるも転倒など多く、また物忘れなどもあり、当初は二週間ということだったが明日(10/27)転居となる。

ご意見等

松江市職員 「 8月16日から入居の方は、介護保険を使わずに全額負担ということですか。」

施設長 「 入所されて早いうちに介護保険申請は行っていますが、医師の意見書がまだ出でていないた
医師の意見書待ちとなっています。」

松江市職員 「 分かりました。」